

「日本元気塾」第一期が 2009年6月19日開講しました

応募総数389名。3.5倍の狭き門をくぐり抜けた110名が
2009年6月19日(金)、日本元気塾第一期生として入塾をいたしました。
入塾式の様子と、塾生の方々の入塾動機や意気込みなど、生の声をご紹介します。

「講師の先生方の入場です。」司会の声と共にドアが開くと、スポットライトを全身に浴びた講師陣がクイーンの「We will rock you」にあわせ、意気揚々と登場。日本元気塾第一期の開講です。でも、講師陣の挨拶の後もまだまだ借りてきた猫のように緊張気味の塾生達。そこで米倉塾長が別の部屋への移動を指示します。

移動した部屋に待ち受けていたのは点在する大小さまざまなフラフープの輪。塾対抗ゲームがスタートしました。ルールは簡単で、椅子取りゲームの要領で音楽が止んだ時に輪に飛び込むだけ。どれだけの人が輪には入れるかの創意工夫と、互いの協力が求められます。汗を流した後は〇×ゲーム。「第3次十字軍」から「米倉塾長の国籍」まで様々なジャンルの問題に頭を悩ませます。やっと心も体もほぐれ、会場の一体感が醸成されたところで元の会場に戻り、講師陣が1年間の抱負を語りました。

「日本各地をまわったり、何かを作ってみたいなと思っています。普段なかなか出会わないような人にも会ってみたいなともっています。人の人生を変えてみるのが好きなんです」
(藤巻幸夫)



「前半はベーシックなことをやりたい。愛、こだわり、学習の3つを学んでほしいと思います。後半はクリエイティビティを磨いて欲しい。何も生み出せない人は新しい恋でも生み出してもらいたいなと思っています」
(高島郁夫)



「一期生入塾おめでとう。前例のない塾に飛び込んだみんなの勇氣に感謝したい。1年間を通じて、ビジネスイノベーション、ソーシャルイノベーションに加え、人に教えること、人を育てることも学んでほしいと思っています。」
(米倉誠一郎)



入塾式で想いに火をつけられた様子の塾生達が、今後どのような活動をするのか、今から楽しみです。



左から 米倉誠一郎氏 高島郁夫氏 藤巻幸夫氏

日本元気塾サブプロジェクト 「日本元気塾セミナー」スタート

※このセミナーはどなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

日本元気塾塾長 米倉誠一郎氏がモデレータを務め、イノベーターであると共に、熱い想いや志を持つ人をゲストに招くサブプロジェクト。日本を元気にする原動力になる人から直接話を聞き、多くの人の心に日本を元気にする種を蒔くプロジェクトです。

日本の蚊帳(かや)がアフリカの貧困を救う
～1人の日本人が20年間続けたライフワークが、世界を動かす～
日時: 7月9日(木) 19:00～21:00
講師: 伊藤高明(住友化学(株)農業化学部門主幹)

ホームレスから企業の上場を果たした男
～「ありがとう」を生み出すQ&Aサイト「OKWave」ができるまで～
日時: 7月31日(金) 19:00～21:00
講師: 兼元謙任(オウケイウェイヴ代表取締役社長)

世界最年少で七大陸の最高峰登頂を達成した
冒険家の世界の見え方(仮)
日時: 9月25日(金) 19:00～21:00
講師: 石川直樹(写真家/冒険家)

塾生の声

年齢も職業も、志望動機も様々な塾生の生の声を伺いました

「新しい仕掛けを作るため、自分を白紙にする時間」

米倉塾塾生 外資系金融機関休職中 渡会英之さん(44)

昨年来のグローバル金融危機を経て、金融のビジネスモデルはざっと10年逆戻りしたような状態にあります。大学卒業後20年間以上、金融の世界で人より早く全力で走ってきた自負がある一方、40代半ばになって、残り10年あまりのキャリアは今までのキャリアを活かしつつ、もう一度自分に大きなチャレンジを与える良いタイミングが来たのではないかと考えた結果、自分を一度白紙に戻す作業をするため、現在休職中です。

「一人一人が元気になるれば、日本がもっと元気になるんだ!」という基本コンセプトが、この数年自分が漠然と感じていた想いとまさに一致していたことが「日本元気塾」を志望した最大の理由です。自分はこれから自分のビジネスを組み立てるステージにいるので、先生が提唱されるビジネスイノベーションの重要性という大きなコンセプトに共感し、米倉先生の元で幅広く学びたいと思いました。

細かいアイデアは全てこれからですが、世の中の元気につながるような新しい仕掛けを作りたい、というのが今の心境です。高い志を持った刺激的な仲間と切磋琢磨するこれからの1年間は、自分にとっての最高の準備期間となってくれるのではと大いに期待しています。

人を元気にする「場」を作りたい

高島塾塾生 株式会社CCC 上田元治さん(35)

10年間TSUTAYAの現場を経験した後、昨年からは、渋谷の円山町にある「渋谷シアターTSUTAYA」で映画館の運営の仕事をしています。

日本元気塾の「本を捨てて体験を」「言葉にならないものを共有する」というコンセプトに大変共感しました。そこで、現場を持ち、「場」をつくっている方からビジネスのヒントを得たいと思い高島塾を選びました。高島さんの手がけるお店は、雑貨や家具それ自体よりもライフスタイルを提案するという側面が強く、それは自分が仕事の中でやりたいことにも近い、と考えたのです。

世の中が便利になって、Webで何でも買えたり、配信で映画や音楽が楽しめるようになりました。簡単に自宅で完結してしまう。でも「そんなに引きこもりたいの?」とも思っていたんです。買い物に出掛けるのは楽しいし、映画は映画館で観た方が、音楽もライブで味わった方が心に響く。そんなことを考えていたところに「元気」というキーワードに出逢いました。「あ、場は人を元気にするかもしれない」と。ネットや配信が盛んになるなかでこそ、みんながワイワイ交流する「場」を作りたいと思いました。「便利もいいけど元気もね」という感じです。

「人生のリベンジにおける講師の姿勢を学びたい」

藤巻塾塾生 株式会社イーキュー・ジャパン 土井久美子さん(26)

現在教育研修会社で企業の研修を行う仕事をしています。「日本元気塾」の掲げる「カリキュラムのない学校」は研修の理想ですが、とても難しいことなので、「どうなるんだろう?」という純粋な興味を持ったのが入塾のきっかけです。藤巻塾を選んだのは、私はやりたい仕事を体調を崩して断念し、現在リベンジ戦と頑張ってがんばっている最中なので、体調を崩されて尚、攻めの姿勢で精力的に活動されている藤巻さんが、業界が違うのに関わらず自分の歩く道の先に行く先輩に見えたのが、一番の理由です。

20代後半に入った今、仕事か、結婚か、半々でバランスを取るのか…人生の分岐点に立っていると思っています。その手前にいる自分としては、どれも同じ重みの選択肢だと感じるからこそ、消去法ではなく、攻めの姿勢で選びたいと考えています。そういう意味で、攻め続けている藤巻先生の姿勢に学ぶところがあると思いました。

だから藤巻塾に入るときは出来るだけ自分をクリアな状態で入りたいと思っています。クリアな状態に入って、先入観なくいろんな知識や経験を自分の中に取り入れて、最後に確たる「芯」を自分の中を持つことが理想です。



「日本元気塾」スペシャル・プログラム

「建築家 安藤忠雄 vs 日本元気塾 in 直島」

～日本のソフトパワーを紐解くフィールドワーク～

6月に開講の「日本元気塾」のフィールドワーク第一弾は、「建築家 安藤忠雄 vs 日本元気塾 in 直島」。
6月28日(日)から1泊2日で瀬戸内海の小さな島、直島を訪れました。



直島といえば、米国雑誌『トラベラーズ』が、新世界の7不思議のひとつに選んだという現代の秘境。そのコンセプトを考えたベネッセコーポレーション会長の福武総一郎氏、建築を担当した安藤忠雄氏が迎えてくださるとあっては行かないわけにはいきません。元気塾の講師3人と塾生、アカデミーヒルズの告知を見て応募された方々と、総勢80名で押しかけることになりました。



お天気に恵まれた1日目は、家プロジェクトの見学後、安藤忠雄氏のセミナーへ。「芸術は可能性をひらく」がテーマの安藤氏のお話の後は、急遽モデレーターに指名された米倉塾長の進行のもと、活発な質疑応答が繰り広げられました。

講演終了後は、安藤氏とともに地中美術館の見学へ。安藤氏に作品を解説いただき、直接質問する機会もあり、贅沢な見学となりました。

そして、1日目の締めくくりは、安藤氏及び、福武氏もご参加いただいた懇親会。会場ではいたるところで交流の輪が広がり、楽しい会となりました。



2日目は、福武氏のセミナーからスタート。ベネッセアートサイト直島のコンセプトや造る際のエピソードをご披露いただきました。

福武氏のお話を受けて、元気塾の3名の講師によるトークセッションへ。直島を初めて訪れた高島氏は、「動かせないアートが街を活性化することを実感した。今の日本に残せる何かを真剣に考えるべきだ。」、藤巻氏は「常識を疑うことが大切であり、豊かさについて本気で考えなければならないと思った。」と、講師陣も2日間の直島での体験から多くのことを感じられたようです。

そして、参加された皆様も、普通の旅行では体験できない、貴重な時間を過ごせたと満足した様子でした。



詳細はアカデミーヒルズWebページ活動レポートにレポートをUP予定です。
(7月22日(水)～予定)

<http://www.academyhills.com/note/report/tqe2it000009baic.html>



2009年7月～8月のイベントスケジュール

*ご取材、ご参加に関して詳細はお問い合わせください。 Tel: 03-6406-6649 (担当: 深町)

スクール・フォーラム ビジネスパーソンを対象にした公開イベントです。(有料プログラム)

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
7月14日[火] 19:00～21:00	「ぶれない経営」シリーズ レストランひらまつの社長が語る「本物志向」で確立したブランド	講師: 平松 宏之 [株式会社ひらまつ社長] モデレーター: 首藤 明敏 [博報堂ブランドコンサルティング社長]
14日[火] 19:00～21:00	オンラインビジネスセミナー “YouTube” が拓いた動画共有サービスの可能性 ～そのユーザー像とビジネス活用のポイント～	ゲストスピーカー: 徳生 裕人 [YouTube シニアプロダクトマネージャー 日本およびアジア太平洋地域担当] モデレーター: 神原 弥奈子 [株式会社ニュース・ツー・ユー 代表取締役]
16日[木] 23日[木] 19:00～21:30	実践不動産バリューアップシリーズ 賃貸オフィスマーケット分析の基礎と最新オフィスマーケット事情 ～不動産マーケティングの実務、オフィス編～賃貸オフィスマーケットの最新事情と将来展望	講師: 前澤 威夫 [シービーリチャードエリス総合研究所株式会社 専務取締役 前澤 威夫]
22日[水] 19:00～21:00	藤井清孝氏が直伝する「グローバル・マインド」実践講座シリーズ第1回	講師: 藤井 清孝 [元LVJグループ社長、現ベタープレイス社長]
8月1日[土] 10:00～17:00	一日で学ぶ会計力と戦略思考力演習講座	講師: 大津 広一 [株式会社オオツインターナショナル 代表]
3日[月] 19:00～21:00	ユニクロック仕掛け人・クリエイター 田中耕一郎×西川英彦 (デジタルコンテンツセミナー)	講師: 田中 耕一郎 [プロジェクト] モデレーター: 西川 英彦 [立命館大学教授]

Library Talk 六本木ライブラリー会員対象のコミュニティ イベントです。

*開催時間は全講座 19:15～20:45

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
15日[水]	“人をつなぎ知をつないでいく”シリーズ「六本木ライブラリー・シナプス」 第5回:世界的陶芸家への道	ゲストスピーカー: 小池 頌子 [陶芸家] ファシリテーター: 小山 龍介 [株式会社ビジネスプラグイン代表取締役 / 六本木ライブラリーメンバー]
28日[火]	日本の政治シリーズ 第3回	スピーカー: ジェラルド・カーティス [コロンビア大学教授]
30日[木]	谷崎潤一郎『刺青』をあの秀子とともに朗読で味わう(仮)	スピーカー: 青柳 ひで子 [俳優] 阿武 秀子 [フリーライター]
8月4日[火]	「BENGO!」(裁判員制度)	スピーカー: きたがわ 翔 [漫画家] 元榮 太一郎 (もとえ たいちろう) [弁護士ドットコム代表]
10日[月]	煩惱リセット稽古帖(仮)	スピーカー: 小池 龍之介 [月読寺住職 / 著者]

ライブラリー特別プログラム 「大人の文化祭」開催!!

オフィスと自宅の間の「第三の場」での
ネットワーキング活動がますます活発化

毎年恒例のコミュニティイベント。今年はメンバーのメンバーによるメンバーの為のイベント「大人の文化祭」を開催します。先行き不透明な時代だからこそ、会社や組織と離れた「人脈作り」や「新しい人とのつながり」を重要視するビジネスパーソンが増加しています。「大人の文化祭」は仕事が終わって自宅に直帰するのではなく、メンバー同士で何かを作り上げる楽しみを共有し、より多くの人と深い人脈を築く「場」をメンバー自身が企画します。

◆日時:2009/8/29(土) 15:00～(予定)

◆場所:アカデミーヒルズ40(六本木ヒルズ森タワー40階)

特別プログラム

六本木天文クラブ活動開始

イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向けた1609年から400年目の今年は「世界天文年2009」。

六本木ヒルズでは、夏至にあたる6/21(日)から「六本木天文クラブ」の活動を開始しました。

8月の毎週土曜日は「夏休みセミナー付き観望会」を開催します。若手天文研究者の方々に宇宙研究の最前線を分かりやすく語っていただき、終了後は六本木ヒルズ屋上東京シティビュースカイデッキでの観望会に参加。星を観て、宇宙を知る、ヒルズならではの夏休みイベントです。

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
8月1日[土]	世界天文年2009 私たちは宇宙のどこまでを理解したか ～ガリレオが初めて望遠鏡を夜空に向けてから400年の発展～	高梨 直紘 [国立天文台 研究員]
8日[土]	知ってるようで知らない「太陽」という星 ～学校では教えてくれない「太陽」の不思議と最新研究～	岡本 文典 [国立天文台 研究員]
15日[土]	星が生まれるとき ～1千億の星が生まれた現場とそれぞれのドラマに迫る～	亀谷 和久 [JAXA 研究員]
22日[土]	まだ見ぬ第2、第3の「地球」たちを求めて ～広い宇宙に地球外生命体を探る系外惑星探査の最前線～	成田 憲保 [国立天文台 学振研究員]
29日[土]	銀河のむかしと今 ～すばる望遠鏡により紐解かれる宇宙の歴史～	諸隈 智貴 [国立天文台 学振研究員]

*開催時間は全講座 17:00～18:30